

保健医療サービスの知識等

問 題 26 ～ 問 題 45

問題 26 高齢者の疾患の特徴として、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 若年者に比べて、脱水のリスクが高い。
- 2 症状は、定型的であることが多い。
- 3 一人で多くの疾患を併せ持つことが多い。
- 4 骨密度の低下が見られることが多い。
- 5 予後は、社会的要因に影響されない。

問題 27 次の記述のうち、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 体温は、24 時間を通じて一定である。
- 2 呼吸状態が悪くなると、皮膚や粘膜が青紫色になることがある。
- 3 一般的には、血圧は安静時に測定する。
- 4 寝ている間に血圧が異常に上昇する状態を、起立性低血圧という。
- 5 バイタルサインの一つに、意識レベルがある。

問題 28 次の記述のうち、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 BMI (Body Mass Index)は、認知機能の指標である。
- 2 ヘモグロビンA1cは、糖尿病の管理に用いられる。
- 3 LDLコレステロール値が高い状態は、高尿酸血症と呼ばれる。
- 4 便潜血検査が「陽性」の場合は、大腸で出血している可能性がある。
- 5 血清クレアチニン値は、腎機能の指標となる。

問題 29 次の記述のうち、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 床に就いてもなかなか眠れないことを中途覚醒という。
- 2 エアマットなどの体圧分散寝具を用いた場合には、体位変換を行う必要はない。
- 3 ベッドから車いすへの移乗を介助している人には、腰痛が生じることがある。
- 4 入浴介助の際には、皮膚炎や褥そうなどの有無を確認する。
- 5 口腔内・口腔周囲を動かすことは、オーラルフレイルの予防につながる。

問題 30 リハビリテーションについて、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 患者の状態に応じて、できるだけ早く始める。
- 2 残存機能の活用が含まれる。
- 3 廃用症候群は、予防することはできない。
- 4 食事中的「むせ」は、その時の姿勢とは無関係である。
- 5 多職種が連携して行う。

問題 31 認知症について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 運動不足によって、発症リスクが高まることはない。
- 2 認知症の有病率は、年齢にかかわらず一定である。
- 3 社会的孤立の解消は、認知症の予防につながる。
- 4 本人の意思決定を支援することが大切である。
- 5 本人のみならず、その家族への支援も大切である。

問題 32 高齢者の精神障害について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 妄想性障害がある患者への対応としては、まずは患者の話をよく聞くことが大切である。
- 2 老年期うつ病では、家族、友人などの喪失体験が発症のきっかけとなることはない。
- 3 老年期うつ病の治療方法として、薬物療法や精神療法がある。
- 4 セン妄は、若年者と比べて高齢者の方が発症しにくい。
- 5 アルコール依存症のケアでは、自助グループなどの地域の社会資源の活用も有効である。

問題 33 次の記述のうち、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 医師個人の経験だけに頼るのではなく、科学的根拠に基づいた医療をエビデンス・ベースド・メディスン(Evidence Based Medicine：EBM)という。
- 2 患者が、医療者から病状や治療方法等の説明を十分に受けた上で同意することをインフォームド・コンセントという。
- 3 認知機能が低下している場合には、治療方法についての説明は本人には行わない。
- 4 患者に関する情報を得るために必要があれば、本人と家族とを別々に面談することがある。
- 5 緩和ケアは、在宅では行われない。

問題 34 高齢者の栄養・食生活について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 居宅での食事支援では、介護する家族の状況を考える必要がある。
- 2 高齢になっても味覚は低下しない。
- 3 低栄養になる要因として、口腔機能の低下がある。
- 4 必要な栄養を間食で補うことは適当ではない。
- 5 摂食・嚥下機能に応じて、食形態を調整する。

問題 35 在宅医療について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 酸素療法を行うことがある。
- 2 中心静脈栄養法を行うことがある。
- 3 胃ろうに栄養剤を注入する際には、半座位で行うことはない。
- 4 インスリンの自己注射の効果は、体調にかかわらず一定である。
- 5 ストーマを造設しても、入浴は可能である。

問題 36 感染症について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 高齢者は、感染症に対する抵抗力が低下していることが多い。
- 2 ノロウイルス感染症は、夏に多い。
- 3 インフルエンザの感染経路として、飛沫感染がある。
- 4 発熱していなければ、インフルエンザの感染を疑う必要はない。
- 5 帯状疱疹ワクチンの接種が、高齢者に推奨されている。

問題 37 緊急時の対応について、より適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 衣類の下の皮膚に「やけど」をした場合は、その衣類を脱がせて流水で冷やす。
- 2 窒息が疑われる場合は、直ちに異物の有無を確認し、あればその除去を試みる。
- 3 激しく出血している場合は、出血部位よりも心臓から遠い部位を圧迫して止血する。
- 4 寝たきりの高齢者が嘔吐した場合には、側臥位にしてはいけない。
- 5 両手足に力が入らず、頸髄損傷が疑われる場合は、できるだけ身体を動かさない。

問題 38 次の記述について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 就労，ボランティア活動などを通じた社会参加は，フレイル予防に役立たない。
- 2 糖尿病の悪化予防には，血糖値の管理が有効である。
- 3 前立腺肥大症の場合は，尿意を感じてもなるべく排尿を我慢させる。
- 4 高齢者の転倒による骨折は，大腿骨頸部に起きやすい。
- 5 心不全の場合は，塩分摂取の管理も重要である。

問題 39 在宅のケアチームにおける多職種連携について、より適切なものはどれか。

3つ選べ。

- 1 利用者を中心として展開する。
- 2 構成するメンバー間の相互理解は，不要である。
- 3 利用者の状態が変化した場合でも，再編成の検討は行わない。
- 4 インフォーマルサービスを担当する関係者も参加する。
- 5 構成するメンバーは，その専門性や能力を発揮することが求められる。

問題 40 ターミナルケアについて、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)には、家族は参加できない。
- 2 口腔内の保湿や清潔を保つ。
- 3 呼吸状態にかかわらず、ベッドを水平に保つ。
- 4 下顎呼吸は、臨終に近いことを示している。
- 5 臨終が近づいても、本人に声をかけるなど、その人の尊厳を保つケアを行う。

問題 41 介護保険における訪問看護について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 心身の機能の維持回復を目指すものであり、要介護状態の悪化防止は含まない。
- 2 事業所は、24時間365日、サービスを提供することが義務付けられている。
- 3 保険医療機関の指定を受けている病院は、介護保険の指定訪問看護事業者とみなされる。
- 4 家族に対しても適切な指導を行う。
- 5 急性増悪時に主治の医師から特別訪問看護指示書が交付された場合でも、介護保険から給付が行われる。

問題 42 居宅療養管理指導を行うことができる職種として正しいものはどれか。

3つ選べ。

- 1 社会福祉士
- 2 医師
- 3 薬剤師
- 4 介護福祉士
- 5 管理栄養士

問題 43 介護保険における通所リハビリテーションについて適切なものはどれか。

2つ選べ。

- 1 低栄養状態にある高齢者は、利用できない。
- 2 通所リハビリテーションを利用している者は、訪問介護を利用できない。
- 3 若年性認知症により要介護認定を受けた者は、利用できる。
- 4 生活相談員を配置する必要はない。
- 5 介護支援専門員は、通所リハビリテーション計画を作成しなければならない。

問題 44 指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護について適切なものはどれか。

3つ選べ。

- 1 利用者が尊厳を保持し、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助を行う。
- 2 施設サービスである。
- 3 オペレーターとは、随時対応サービスとして、利用者やその家族等からの通報に対応する従業者をいう。
- 4 計画の作成責任者は、医師でなければならない。
- 5 事業者は、サービスの提供の開始に際し、利用者の提示する被保険者証によって、要介護認定の有無等を確認しなければならない。

問題 45 介護老人保健施設について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 計画的なりハビリテーションを行う。
- 2 医師を配置しなくてもよい。
- 3 保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めなければならない。
- 4 医療法人は、開設できる。
- 5 入所者が終末期になった場合には、退所させることが義務付けられている。